

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和3年9月7日（火） 11時00分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 県立高等学校では夏季休業明けの在宅学習においてオンライン学習を実施しています！

質疑事項

- ・ ネットパトロールの書き込みについて

発表項目

○県立高等学校では夏季休業明けの在宅学習においてオンライン学習を実施しています！

本日は1点、県立高校での夏季休業明けを在宅学習中心にやっておりますけれども、その中のオンライン学習の特徴的な授業についてご説明いたします。

まず夏季休業明けから9月12日までの間、オンライン学習、あるいはプリント学習などによる在宅学習を行っています。その内容は、教室から通常授業をやって、それを家庭にライブ配信をしたり、あるいはあらかじめ作成したオンデマンド動画を生徒が視聴したり、あるいは課題を配信したり、アンケート集計ソフトを活用して授業の振り返り、あるいは確認テストを実施したり、いろいろ工夫して取り組んでいるところです。そういうのに際して多くの学校では特別の時間割を編成して、学校、生徒の実態に応じて実施をしているところです。今回のオンライン学習の実施に当たりましては、家庭での環境が十分でない生徒さんには、学習用端末の貸し出しとか、モバイルルーターの貸し出しなどを行ったり、登校による指導とか、課題の配布など、それぞれに応じた対応を行っております。

特徴的なものを4点、ご説明いたします。

1点目は松阪工業高校におけるYouTubeを活用したリスニング活動の取組です。英語会話という科目で2年生全員227名が受けております。松阪工業では、国の事業も活用して、職業系専門高校での英語の4技能（聞く・読む・話す・書く）の総合的なコミュニケーション能力を育成する実践に取り組んでいます。これについては昨年度から、教科書の内容を踏まえてYouTube動画の作成を始めました。今回の在宅学習を機に本格的にこれを活用しています。生徒は、動画を視聴後、オンラインで内容について教員と生徒、あるいは生徒同士の話し合いとか、内容理解を確かめる問題に取り組んだりしています。YouTubeには、校長など英語科以外の教員も出演して、生徒の興味関心を高めるような教材としています。昨年度から取り組み始めて、英語の成績下位層の生徒が減少して、上位層の生徒が増加したり、あるいは、これまでに作成した動画が、本年度の全国自作視聴覚教材コンクールの高等学校

部門に応募して、入選に選ばれております。

2点目が、津高校における高大連携の取組です。学校設定科目のSS生命科学、スーパーサイエンスの略ですけれども、SS生命科学で、1、2年生の選択者約30名が受講しております。津高校では、大学の教員による高校への出前授業など、大学と連携した発展的・専門的な学習に取り組む高大連携の活動をやっています。三重大学との連携では、教育課程に位置付けた科目を開設しており、その科目を履修したら、三重大学に進学した場合は、三重大学の単位を認められるという制度もあります。今回の津高の学校設定科目、SS生命科学はこの対象とはなっていないんですけれども、生命の神秘や医療の最先端分野、医学と社会の関わりなどの講義や実習を受けさせていただいています。普段は三重大学や津高での対面による講座でやっているわけですけれども、この在宅学習期間の9月2日はオンラインでやって、大学の方から講義をしてもらって、生徒は自宅で視聴しました。13日も同様のことを考えています。

次が、四日市高校でのオンラインの海外交流の取組です。これは授業としては論文英語ということで、2年生の普通科の国際科学コースで、これを選択している2年生17名が受講をしています。四日市高校では、アメリカへ海外研修に行っていたんですけれども、昨年度からのコロナ感染症の拡大で実施ができていません。その代替として、今年度は、この論文英語という授業の中で、週1回、インターネットを使って、オンラインによる海外交流のプログラムを活用して実施をしています。ワシントンDCを本拠に活動する団体が、日本の高校の英語のクラスと、アメリカの高校の日本語を学んでいるクラスをマッチングして、7～8月のオリエンテーションを経て、9月から2月までの6ヶ月間、教員のファシリテーションのもとで、オンライン上の教室で、日本とアメリカの生徒がメッセージとか動画とか写真を投稿し合って、SDGsなど、その題材を決めて、それをやりとりした交流を行います。異文化理解、海外の同世代とのネットワーク形成などに取り組んでいるところです。現在は、生徒がメッセージとか動画の作成など、オンラインの海外交流に向けた準備を進めています。

4点目が四日市工業高校における学習支援ソフトを活用したオンライン面接の練習の取組です。3年生の就職希望者全員にやっております。四日市工業高校は、就職希望者が多く在籍をしております。今、就職希望者の応募前の職場見学の時期なんですけれども、中身はライブ配信とか、動画視聴とか、オンラインによる職場見学が今年度は増加をしております。オンラインによる入社試験もあり得るということが想定されますことから、9月6日から15日まで、就職希望者を対象に、オンラインでの面接練習を教員と対象生徒とマンツーマンで重点的にやっております。在宅学習期間中に、生徒の自宅のパソコンと学校のパソコンをつないで、対面による面接の基本的な指導に加え、顔がはっきり写っているかとか、声が鮮明であるかとか、室内の様子がどうかということも含めて指導を行って、生徒がオンライン面接に自信を持って臨めるような取組をしておるところです。

少し授業の様子を見ていただければと思います。

(高校教育課)

生徒の顔等が映っておりますので、撮影等は控えていただきますようお願いいたします。まず最初に松阪工業高校における Youtube を活用したリスニングの取組です。

～動画①上映～

生徒はこの質問に、この後オンラインでやり取りをして考えて答えるということを行います。

次が津高校における高大連携の取組です。

～動画②上映～

これは生徒がチャットに質問を書き込んで、大学の先生が回答するという授業です。

次に四日市工業高校におけるオンライン面接学習の取組です。昨日も実施しました。

～動画③上映～

教員はイヤホンをつけているので声は聞こえていませんが、音声のチェックをしています。以上です。

(教育長)

今後ですけれども、昨年度も4月の臨時休業期間中、県内全ての県立高校で、オンラインのホームルームを実施したり、オンライン学習も一部やったわけですが、今回の在宅学習期間中は、昨年度の経験も踏まえて、今見ていただいたような、他にもあるんですけれども、オンライン学習が見られるようになりました。こうした効果的な教育活動を、引き続き学校の取組を進めるとともに、オンラインによる海外交流とか、有識者、企業とかによるオンライン講座とか、生徒がいつでもどこでも学べるようなプログラムというのをぜひこれからもやっていきたいというふうに思っております。

以上です。よろしく申し上げます。

発表項目に関する質疑

○県立高等学校では夏季休業明けの在宅学習においてオンライン学習を実施しています！

(質) まずこれ、前回分散登校をするときにも聞いたんですけれども、家庭の話なんですけれども、学習環境が十分でない、オンラインでの、その子たちに端末とかの貸し出しをする

ということを言っていたと思います。ここにも「個に応じた対応を行っています。」とありますが、実際のところ、取りこぼしというか、そういったところというのは今のところないんですかね。学習できない子がいるだとか。

(答) そうですね、今おっしゃっていただいたように、デバイスがないご家庭には、学校が保有していますパソコンを貸し出したり、それから通信環境について、モバイルルーターを貸し出したりしています。それでも通信がいろいろ難しい場合は、感染対策に注意をして、学校に、可能な場合は登校して、そこで、場合によってはオンデマンド教材になるかもわかりませんが、今、例えば同じようなものを見てもらったりするということで、それぞれの学校とか個人に応じた対応というのをさせていただいています。

(質) 今のところ、そういったできていない子がいるということは。

(答) ないですね。はい。

(質) わかりました。これその8月から学校での感染者、学校関連での感染者がすごい増えてということだったと思うんですけども、これってその12日以降は完全にオンライン学習はもう、一応もうそこで終わるっていう方向性なのか、それとも、例えば9月末まで続けていくとか、そのあたりの方向性はどうなっているんですか。

(答) 今、こういう分散登校中心にしているのも、学校での感染者が増えてということで、県全体としても緊急事態宣言が発令されているということもあって、今こういう取組をさせていただいています。その期間が12日までですので、まずその県の全体の対応がどうなるかというのをふまえて、学校の取組も検討していく必要がありますし、いろんな今後の状況が考えられますので、どういった場合でも対応できるように、教育委員会でも学校にも指示して検討しているというところなんです。準備をいろいろしているというところなんです。

(質) 例えばその12日で宣言が終わった場合は、その翌日から、13日からはもう普通に登校が始まって、オンラインとなるのか。

(答) そうですね、私としては、もし何もなくなった場合にも、本当にすぐに全員が一斉に登校をするかどうかというのは、今の学校の感染状況とかも見て、決めていきたいなというふうには思っております。

(質) 今のお話ですけど、つまりおっしゃっていたのは、緊急事態宣言がなくなって、あんまりならないと思いますけれど、宣言とか、そういった措置が全くなくなったとしても、そうなったら分散登校が解除です、という考えというわけでもないということですか。

(答) 全くなくなって、感染状況が本当に、生徒もそれから県全体としても、医療体制も含めて、あまり心配ないということであれば、通常の教育活動が実施できるんでしょうけれど、いろんな状況を見ると、なかなかそういったことが直ちに考えられるかどうかということもありますので、我々としては、今の期間は12日までですけども、13日以降もこういったオンライン学習も加えた学びを継続ということもありうるということも考えながら、いろんな準備・対応をしているところです。

(質) 継続は前提というわけでもない。

(答) まあ前提というか、それはまあ県全体の方で決まっていく話ですけども、そういうことも見据えながら、学校として機動的に対応できるように、準備をしているところです。

(質) 学校での感染状況、前、分散登校やりますとなったときに何人くらい感染してというのがあったと思うんですけど、あれの最新の状況はわかりますか。

(答) 今ちょっと手元に持っていないんですけども、8月ひと月で、公立の小中学校、特別支援学校、高校合わせて、児童生徒、教職員の合計で、700件を超えているという状況です。ちょっと個別具体の数字までは今手元にないんですけども。

(質) これは分散登校にしてから減っているんですか。

(答) 分散登校というか、毎日を積み上げての今の月間ですので、学校の始まりが、夏休みの終わりが8月いっぱいまでというところもありますし、もう少しその1日前というところもありますので、多くはまだ学校に、教育活動に来ていないという状況の中です。

(質) ずっと夏休みで、夏休みが終わりだして分散登校の状況で、あまり来ないようにしていても8月いっぱい700件を超えている。

(答) そうですね、それ以前から、お盆過ぎあたりからかなり増えていきますので、月の累計としてということで、700件を超えたという状況です。

(質) ありがとうございます。

(質) 発表項目の関係なんですけど、内容というよりは、こういう工夫をした活動をする意義といいますか、生徒さんにどういうことが重要だと思ってこういう活動を各学校でされているのか伺ってもいいですか。

(答) はい。三重県の県立学校で学んでいる児童生徒さんが、こういったコロナの状況ですけども、安心してまたどういう状況でも学びが継続されるようにということで、それぞれの学校で工夫して取り組んでいます。ですので、普段とは違う学びですけども、この機会もしっかり、それぞれの学校の状況に応じて学んで欲しいなというふうに思います。

(質) ありがとうございます。

(質) ちなみに、先ほどおっしゃっていた13日以降での、分散登校とオンラインの併用というのを、13日以降するかどうかっていうところの判断はいつ時点で決まる見込みなんですかね。

(答) そうですね、今ちょっと、分散登校とオンラインの併用というよりも、今、在宅学習を基本にというふうにしております。分散登校というのが、例えば夏休みを明けて、学期始めの、あるいはオンライン学習をこういうふうにするとかという指導が必要な場合に分散登校をします。それ以降は、基本はオンライン学習であったり、プリント課題の提供をして、在宅学習を中心にやっています。あと、就職指導とか個別の指導が必要な場合については、学校で個別対応をしています。基本は在宅学習を中心にやっています。それで、13日以降の対応については、県全体としても13日以降の対応が検討され、決められていくと思いますので、それと並行して、我々もいろんな状況を想定して検討し、決めて

いきたいというふうに思っています。

(質) 例えば今週の金曜日までに。

(答) もちろんそうですね。金曜日までには少なくとも、我々としては決めていかないと。

(質) わかりました。

(答) 児童生徒とか家庭の連絡とかありますので、今申し上げたように、遅くとも金曜日までにはきちんと届くように連絡はするつもりです。

(質) すみません。関連してあの、就職の時期がその面接とかが控えている、9月16日に大きなのがあるっていう話が前あったと思うんですけど、そういったところ、就職を希望している生徒たちへの影響っていうのは特には。

(答) そうですね。通常でしたら、夏休みにも個別指導をしたり、それから新学期が始まった時に、実際に就職を希望する会社とかを事前に勉強したり、面接の指導をしたりというのが学校に出てきてあるわけですが、今その部分について、従前のような形にできませんので、今見ていただいたような、場合によってはオンラインで指導したり、中には個別に学校に出てきて面接の指導であったり、あるいはその進路をどういうふうにするかという指導をやったりしているところでもありますので、できるだけ今のコロナの影響が就職を希望する生徒さんに及ばないような形で工夫をしながらやっているというところでは。

その他の項目に関する質疑

○ネットパトロールの書き込みについて

(質) 8月だけで、そのコロナの感染者が、公立小中高で700人を超えているということですが、県教委の方でやっているネットパトロールで書き込みが増えているとかそういった傾向ってのはあるんでしょうか。

(答) ちょっと今、個別の数字を持ち合わせてないんですけども、大きく増えているということの報告は今は受けてはおりません。

(質) リスクレベル的に対処の必要な高い案件っていうのは。

(答) そういうのはないです。

以上、11時27分終了